

日 時	令和6年5月17日（金）13：30～14：45	場 所	旧中医学研究所
内 容	第6回 旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会		
次 第	1 開会 2 日程説明 3 報告事項 (1) 旧下田中学校・旧中医学研究所の有効活用方針について (2) 今後のスケジュールについて 4 その他 意見交換 5 閉会		
出席者	岡村会長、阪本副会長、宮村委員、尾崎委員、宮崎委員、佐田委員、山本委員、片岡委員、久保委員、前田委員、有原委員、須山委員、谷口委員		
事務局	副市長、武田企画広報課長、田邊室長、永野主幹		
会 議 の 概 要 と 結 果			
	1 開会 委員15名中13名が出席し会議を開会。		
	2 日程の説明 会次第に沿って日程を説明。		
	3 報告事項 (1) 旧下田中学校・旧中医学研究所の有効活用方針について 【資料①】の内容を事務局より説明。		
宮崎委員	防災関連の内容が有効活用方針に含まれていないことは残念に思う。ただ、市は有効活用基本方針の中には記載のなかった政策会議を開き、スピード感を持って対応してくれていると感じる。		
	下田三地区としては、災害時に使える防災機能を有した調理場について、今後事業が進む中で開かれる地域と協議を持つ場において活用のための主張をしていきたい。		
	また、以前は旧下田中学校と体育館を結んで設置されていた浄化槽について、現状では浄化槽が利用できず、体育館は中間槽を利用し、汲み取りを行い対応しているが、今後校舎を直す中で浄化槽を再度体育館と繋げるのか。		
事務局	旧下田中学校の有効活用方針で決定した主たる目的は小学校と保育所の合築となる。有事の際にどのように活用出来るかは、主たる目的と機能を果たすことを基本に置きながら今後の整理の中で検討させていただく。		
	浄化槽について、体育館と校舎の配管が繋がっておらず使えない状況にある。今後再利用するのか、新たに槽を設置するのか検討を行う。		
宮崎委員	未定箇所について、ランチルームとして子どもたちがそこで食事することも大事であり、百年に一度の大地震でどうするかも大事な話である。旧下田中学校校舎は指定避		

	<p>難所であるため、どのように活用するかを特定の地域と協議をする場を設けるのか。</p>
事務局	<p>実施設計の段階で、先生方、保護者の皆さま、地域の方々と話しながら設計を作っていくこととなる。</p>
宮村委員	<p>政策会議がどのような会議であるか説明いただきたい。</p>
事務局	<p>政策会議は四万十市事務執行基本規定のなかで、市の最高意思決定機関として定められ、市長を始めとした構成員からなり、市の重要案件があった場合に市の最終的な方向性を判断し意思決定を行う場となる。</p> <p>有効活用基本方針の中に政策会議については記載されていないが、検討会での意見、それに対する市プロジェクトチーム会議での互いにやり取り等を踏まえ、市として意思決定を行うにあたって政策会議を開催した。</p>
阪本副会長	<p>旧中医学研究所の屋内遊園地における、運営主体、収容人数、入園料、対象とする子どもたちを市内にするのか、市外も含めるのかなど分かる範囲で教えていただきたい。</p> <p>旧中医学研究所の2階が貸しスペースとなるのであれば、先日オープンしたしまんとピアとの値段の比較はどうか。</p>
事務局	<p>運営主体、収容人数については、今後の検討となる。入園料についても、詳細はこれからだが、現時点で先進事例を参考にした相場では500円程度だった。</p> <p>2階については、検討会では産前産後ケア施設等の意見も出ていたが、今の時点では具体には決まっていない。</p>
有原委員	<p>保育所と小学校の高台移転について合築が望ましいと書いてあるが、前回の検討会で保育所と小学校の時間の使い方の違い、生活リズムの違い等について意見が出た。どのような検討をした結果、合築が望ましいとなったのか。</p>
事務局	<p>政策会議の中では、同じ建物内で保育所と学校を合築という形で運営している事例、中学校においてチャイム音無しで子どもたちが自主的に学校生活を送っている事例が紹介され、チャイム音無しは小学校でも学校規模によっては可能ではないかとの意見が出された。</p> <p>また、クリアしなければならない問題の他にメリットもあるとの意見も出た。保育所と小学校と一緒に運動会等の行事活動が出来ることや、保小の接続においてメリットがあるのではないか等の意見を包括した結果、保育所と小学校の双方が工夫しながら運営できるのではないかと結論づけられ、最終的に合築で進めることとなった。</p>
有原委員	<p>可能であれば、実際に子どもたちを見ている保育士や小学校の教員の方などに合築した場合の生活の仕方の聞き取りを行って欲しい。また、保護者や子どもたちも含めた現場の声を聞いて決めていっていただきたい。そのような取り組みは可能か。</p>
事務局	<p>今後、実施設計を進めて行く中で保護者の方、教職員、専門的な立場の意見を取り入</p>

	<p>れながら進めて行く。</p>
有原委員	<p>検討会は HP で情報を公開しているが、今後施設をどういう風に使うかというのは市民も気になる場所であるため、是非公開していただきたい。</p> <p>文部科学省と厚生労働省が小学校における連携事例集を HP で公開している。今年度4月から保育所と小学校の連携を強化する方針が決まったと聞き及んでいる。タイミング的に四万十市が保育所と小学校を合築して運営を始めることは、話題性もある。四万十市のイメージアップに繋がるような良い建物になったらと思う。</p>
岡村会長	<p>大人が思っている以上に、子どもたちは沢山の意見を持っている。是非参考にして欲しい。</p>
事務局	<p>(2) 今後のスケジュールについて</p> <p>【資料②】の内容を事務局より現時点での構想として下記内容を説明。</p> <p>※【資料②】は説明後回収。</p> <p>①旧下田中学校（下田保育所と下田小学校の高台移転）</p> <p>令和6～7年度 実施設計</p> <p>令和7～8年度 工事</p> <p>令和9年度 開園・開校</p> <p>②旧中医学研究所（屋内遊園地）</p> <p>令和7年度 事業構想策定</p> <p>令和8年度 実施設計</p> <p>令和9年度 工事</p> <p>令和10年度 開館</p>
有原委員	<p>第1回の検討会資料では令和8年に開学となっているが、1年変わったのがよく分からない。高台移転は1日でも早くとされているなかで、ちょっとのんびりではないか。せっかく高台移転が決まったのに、何故3年も4年もかかるのかという声も私の耳には入ってきている。1年遅くなった経過を教えてください。</p>
事務局	<p>第1回検討会で示したスケジュールは、何に活用するか決まってない段階での想定となる。保育所と小学校の合築は事例も少なく、通常の学校整備以上に工期を要することもご理解いただきたい。</p> <p>政策会議が終わった後の担当課との協議で、技師からは現在のスケジュールでも実施設計、適正工期は厳しいかもしれないという声もある。</p> <p>また、手続きに関しても、予算化等の要素もある。</p> <p>諸々を踏まえても、出来るだけ早期に事業としては取り組んでいく。一定期間を要することはどうかご理解いただきたい。</p>
有原委員	<p>一般市民には分からない行政側の手続きが色々あると思うが、地元の意向を最優先</p>

	<p>で考えると市長も大学の認可を取り下げた時に新聞でも発表してくださっている。1日でも早くというのがあなかで、令和9年度と遅くなるのは、なんでかなというのが私の気持ちである。保護者、子どもたちも、なんでそんなにかかるのと言っているが、どうにかならないか。</p> <p>また、合築ではない八束保育所はどのくらいの期間で上がったのか。</p> <p>事務局 手順として進めて行く中で必要な手続きがある。予算の関係もあるが、実施設計に係る期間も事業によって様々であり、合築と考えた場合どれだけ期間が居るのか、工事についてもどれだけ期間が適正工期としているのかを踏まえなければならない。スケジュールとしては、これだけ期間がかかってしまうということをご理解していただくしかない。</p> <p>八束保育所の高台移転について、工期等は把握していない。</p> <p>岡村会長 工事スケジュールについて、個人的に令和7年度から実施設計ではないことは良かったと思う。補正で9月議会上げることは臨機応変な対応ではないか。先ほど事務局の説明を聞いても、合築では実施設計の段階でどんな工夫が必要か、手前で条件付けが必要な部分もあると思う。</p> <p>公共工事では入札が上手くいかず遅れる等、早くなる要素は少なく遅くなる要素が多い。市は非常にタイトなスケジュールで検討しているのではと思う。</p> <p>有原委員 第5回検討会で出てきた施設整備イメージ図と、今回のものを比較した時に、色以外は変わっていない。下田保育所の部屋割りは細かくなっているが、下田保育所の2～3階の使い方は入っていない。</p> <p>合築を蒸し返すことは出来ないかもしれないが、早く考えていく段階に入らなければ、事業も中々進んでいかないと思う。</p> <p>色々な方の意見を聞いて、地元の事を知っている人たちからも意見を仕入れて作っていくことを是非よろしく願いしたい。</p> <p>4 その他</p> <p>意見交換として、各委員がこれまでの検討会について振り返りを述べた。</p> <p>岡村会長 旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会は役割を終えたため、第6回をもって解散する。</p> <p>5 閉会</p> <p>阪本副会長 閉会を宣言し終了。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>記録者</p>	<p>企画広報課施設活用推進室 永野 友裕</p>